

「医療とニューメディアを考える会」

設立趣意書

現在ほど医療をとりまく環境が複雑な様相を呈している時代は、かつてなかったと思われまふ。国民の生命と健康をめぐる状況の変化のなかで、制度上の一大改革が行われつつあり、一方で、高度情報化社会が到来しつつあります。

そこで、人の生命と健康に関わる医療が、その真価を發揮するために、技術としてのニューメディアをいかに活用すべきかについて、根本的に考える必要があります。

単にニューメディア導入についての議論ではなく、ニューメディアの進歩は人類にとって益するの否かを十分に考え、益しない部分については「否」と言うだけの勇気をもたなければならないと考えます。

そのためにも、医療者側の相互の研究・論議はもとより、ニューメディアを利用する国民の側や、ニューメディアを開発する側など相互間での研究・論議を十分に尽くす必要があります。そして、その研究・論議をまとめて、広く世に問うてゆかねばならないと考えます。

私どもはそのようなヒューマニズムと社会的責任の上にたつてこの会を組織し、研究・論議を重ねてきました。

この趣旨に賛同する多くの方々のご参加を願つてやみません。

昭和58年 6月制定

昭和61年11月改訂